

平成 30 年 1 月 25 日  
株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント

## いまの政治家に問われているのは“人としての信頼感”

－ 首都圏 3000 人に「いまの政治家に欠けているもの」を調査 －

株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント(所在地:東京都新宿区、代表取締役:松田 武久)は、首都圏在住の 18～79 歳の男女 3,000 人を対象に実施した自主調査を用い、「政治家に欠けているもの」について分析を行いました。

### 調査結果

- **政治家に欠けていると思うものは「庶民的感覚・世間的常識」がトップ。**  
1996 年の「実行力・行動力」から変化。  
「いまの政治家に欠けているもの」の最多は「庶民的感覚・世間的常識」。  
6 位だった 1996 年と比べると 10 ポイント以上のアップ。  
1996 年にトップだった「実行力・行動力」は 14 ポイント下がり 4 位に。(図 1)
- **年代で違う政治家に求める資質。**  
40 代以下は“ビジネススキル”の物足りなさ、50 代以上は“姿勢”に違和感。  
回答者の年代別に「いまの政治家に欠けているもの」をみると、40 代以下で「説得力・交渉力」「経営意識・コスト感覚」が 50 代以上に比べ高い。50 代以上では、「謙虚さ」が他の年代に比べ高くなっている。  
(ダウンロードレポート参照)

### R&D 生活者インサイト

#### ◇いまの政治家に問われる“人としての信頼感”

「いまの政治家に最も欠けていると思うもの」はこの 20 年で「実行力・行動力」から「庶民的感覚・世間的常識」に大きく変化しました。

庶民感覚という、経済的な側面(金銭感覚)が頭に浮かびますが、「世間的常識」や上位に上がった「責任感」「金銭面の清潔さ」と合わせて考えてみると、ふだん私達の接する人が「信頼できる人かどうか」を判断するのと同じ視点のように思います。

一方 20 年ほど前は「実行力・行動力」が特に多く、「金銭面の清潔さ」「責任感」と合わせると、“政治家”というリーダーとしての資質が問われていたようです。つまり、この 20 年間で政治家に対する評価軸が「任せられるリーダー」から「人として信頼できる」に変化しているように感じられます。「こんな人に政治を任せてよいのか？」と疑問視される政治家は「リーダーとしてふさわしくないのでは？」というより「人として信頼に欠けるのでは？」と考えられていて、その傾向は特に女性の回答者に顕著に表れています。

また、若年層は「説得力・交渉力」「経営意識・コスト感覚」といったビジネススキル・感覚を疑問視する声もあります。一方シニア世代では「謙虚さ」や「正義感」といった姿勢・理念に着目していて、年代によって政治家に対する視点が異なることもわかりました。

### ◇“住む世界”の垣根がなくなりつつある

なぜ、政治家に対する見方が変化したのか。

20年ほど前は、政治家が住む世界と生活者が住む世界は違う、と考えられていたのではないのでしょうか。生活者は、庶民的感覚や世間的常識では考えられない政治の世界の“暗黙のルール”の存在をなんとなく感じつつ、「特殊な世界だから」と消極的ながらも容認してしまっていたように思います。ところが近年「自分たち生活者とは“違う世界”に住む政治家」が「“同じ世界”に住む政治家」という見方に変化しつつあるように感じられます。

それは政治の世界だけでなく、今まで「特殊な業界だから」と暗黙の了解下におかれてきた「芸能界のセクハラ」や「医療・介護・学校業界での長時間労働」「ワンオペ育児」といった最近注目されている問題にも言えることのように思います。

かつてはそれぞれの住む世界に垣根がありましたが、その垣根がなくなりつつあり、一部だけで通用する“暗黙のルール”は通用しにくくなっています。代わりに誰もが納得するルールだけが求められていて、その“誰もが納得する”かどうかの判断基準が「人としてどうなのか」ということなのだと思います。

### 調査結果 グラフ(一部抜粋)

(図1) いまの政治家に欠けていると思うもの

(n=3,000)

2017		1996	
	(%)		(%)
1位 ↑ 庶民的感覚・世間的常識	35	6位	21
2位 ↑ 責任感	34	3位	33
3位 ↓ 金銭面の清潔さ	34	2位	34
4位 ↓ 実行力・行動力	28	1位	42
5位 → 将来を見通す先見力	22	5位	21
6位 ↓ 信念、一貫した主義・主張	20	4位	26
7位 → 正義感	15	7位	16
8位 ↑ 説得力・交渉力	14	13位	7
9位 ↑ 経営意識・コスト感覚	14	16位	6
10位 ↑ 謙虚さ	12	14位	6

\* 「いまの政治家に欠けているもの」26項目の中から3つまで選択。  
 \*(株)R&D「CORE2018 (2017.10)」「CORE1997 (1996.10)」より作成

調査結果の詳細は、**無料ダウンロードレポート『「任せられるリーダー」から「人としての信頼」へ～政治家に求める資質の変化～』**をご覧ください。

本リリースで取り上げた結果以外に、以下の内容を掲載しております。ぜひこちらもご覧ください。

(弊社ホームページよりダウンロードいただけます)

- いまの政治家に欠けていると思うもの／性別比較
- いまの政治家に欠けていると思うもの／年代別×時代比較
- (参考)1996年と2017年の当時のできごと・衆院選まとめ

今回、発表致しましたデータを含む R&D CORE(生活者総合ライフスタイル調査システム)2018 単年の集計表を 100,000 円(税別)にて販売しております。

(18～79 才まで性年代別等基本分析軸での集計表アウトプット)

R&D CORE(生活者総合ライフスタイル調査システム)を利用した調査・分析:課題の洗い出しから分析アウトプットまで、R&D スタッフがお手伝いします。

詳細は弊社ホームページ <http://www.rad.co.jp/> をご覧ください。

#### ■CORE 2018 調査概要■

調査名： CORE2018 マスター調査  
 調査地域： 首都圏 40km圏(調査地点 200 地点)  
 調査対象： 18～79 歳男女個人  
 サンプル数： 有効回収 3000 サンプル (人口構成比に合わせて、性×年代別を割付)  
 サンプル手法： 住宅地図を用いたエリアサンプリングで抽出  
 調査手法： 訪問・郵送併用の自記入式留置調査  
 調査実施時期： 2017 年 10 月(毎年1回 10 月実施)

※『CORE』は、株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメントの登録商標です。

※1982 年から約 30 年、生活者理解のために毎年実施している自主調査です。

#### ■会社概要■

会社名： 株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント  
 所在地： 〒163-1424 東京都新宿区西新宿 3-20-2  
 代表者： 代表取締役社長 松田 武久  
 資本金： 30,000 千円  
 設立： 1968 年 1 月 17 日  
 URL： <https://www.rad.co.jp>  
 事業内容： マーケティング・リサーチの企画設計、実施及びコンサルテーション  
 経営・マーケティング活動の評価及びコンサルテーション

《引用・転載時のクレジット表記のお願い》

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。

<例>「(株)リサーチ・アンド・ディベロプメントが実施した調査によると・・・」

#### ■お問い合わせ先■

- 本分析担当：
  - 株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント マーケティング・ソリューション部 (中西)
- 本資料に関するお問い合わせ：
  - 株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント セールスプランニング部 (小林)
  - TEL：03-6859-2281 e-mail：radnews@rad.co.jp